

令和 2 年度 豊郷中学校 学校評価書

1 教育目標（目指す生徒像含む）

温かな人間関係のもと、豊かな心を持ち、自ら学び主体的に生きようとする生徒の育成

- | | |
|--|---|
| (1) 基本目標 | (2) 具体目標（具体的な児童生徒像など） |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 心身ともに健康で気力あふれる生徒 ・ 自主的に学び創造性にとむ生徒 ・ 思いやりがあり心豊かな生徒 ・ 勤労と責任を重んじ実践力のある生徒 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 心身を鍛える生徒 ・ 自主的に学ぶ生徒 ・ 思いやりのある生徒 ・ 最後までやり抜く生徒 |

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

- 一人一人の生徒が希望をもって生き生きと活動している学校
- 保護者・地域から信頼され活力のある学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

本校のスローガン

「感動のある学校 豊郷中 ～通じ合う心 粘り強い努力～」

「豊郷地域学校園教育ビジョン」（とよさとの学び）

- 「豊かな郷の生き生きとした子どもたち」

〔重点課題〕

- ・ 主体的・対話的で深い学びを実現するため、分かる授業の実践や学習態度の育成、学習習慣の定着などにより学力向上を図る。
- ・ すべての教育活動を通して心の教育を推進し、豊かな心と社会性の育成を図る。
- ・ 元気アップ教育の推進とともに、健康や体力への意識を高め健やかな心と体の育成と活力ある生活の確立を図る。
- ・ 家庭・地域との連携・協力を深め活気あふれる学校づくりに努める。
- ・ 各種教育活動の精選化とともにミドルリーダーを核とした校内組織の活性化・重点化により教職員の働き方改革を推進する

◇ 頑張る学校プロジェクト名 「感動プロジェクト」

- (1) 特色ある学校づくりとして目指すもの

温かな人間関係のもと豊かな心を持ち、自ら学び主体的に生きようとする生徒を育む学校づくり

- (2) 育てたい資質・能力

ア 自分で課題を見つけ、主体的に取り組み、話し合い等により考えを深め、よりよく問題を解決する能力

イ 規範意識を持ち、思いやりの心や感動する心などの豊かな人間性や社会性をもつこと

- (3) 具体的取組

ア 授業において、互いを認め合い励まし合う学習活動の中で、生徒の能動的・主体的学びを引き出す工夫をする。

イ 学級活動や学校行事・生徒会活動の充実、部活動の推進、タイム着席の実施等を通して、自ら考え判断し行動する場をより多く設け、主体的態度や自立・自律の態度を育成し、生徒のもつ多様な資質・能力の向上を図る。

ウ 宮っ子チャレンジウィーク、地域の文化財や自然（瓦塚古墳・北山古墳等）を守る活動、地域行事への参加、各種ボランティア活動等を充実させ、自己の在り方を見つめ、よりよく生きようとする態度や地域を愛する心を育てる。

エ 教科指導、道徳、学級活動、生徒会活動、学校行事等教科横断的な視点での関連付けを図り、生徒の学びを深める。

オ 「魅力ある学校づくり地域協議会」と連携して、小中一貫教育や地域学校園の取組を進める。

カ 緑化・諸掲示・美術・音楽・言語・生活習慣等の教育環境を、教科学習・生徒会活動・学級活動等を通して整備・充実していく。

キ 質の高い文化・芸術に触れる機会や様々な人々との交流活動等を通し豊かな感性や思いやりの心を養う。

ク 教科等への指導における学校図書館の活用とともに、家庭との協力並びに地域学校園全体での連携のもと、学力向上の取組を推進する。

4 教育課程編成の方針

- (1) 教育基本法、学校教育法などの基盤的法律の理念の下、学校教育法施行令、学校教育法施行規則、中学校学習指導要領等に示された規準及び栃木県教育行政基本方針、宇都宮市学校教育の推進計画等の示すところに従い、公教育の自覚のもと全教職員の理解と協力により、本校教育目標の達成を目指して教育課程を編成する。
- (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努める。その際、生徒の発達の段階を考慮して、生徒の言語活動など学習の基盤をつくる活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、生徒の学習習慣が確立するよう配慮する。
- (3) 道徳教育は、特別の教科である道徳を要として学校の教育活動全体を通じて行う。道徳科の時間だけでなく、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、生徒の発達の段階を考慮して、適切な指導を行う。また、学校や学級内の人間関係や環境を整えるとともに、職場体験活動やボランティア活動、自然体験、自然体験活動、地域の行事への参加などの豊かな体験を充実する。指導内容が、生徒の日常生活に生かされるように、いじめの防止や安全の確保等にも資することとなるよう留意する。
- (4) 体育・健康に関する指導は、生徒の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努める。食育の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導については、保健体育科、技術・家庭科、及び特別活動の時間はもとより、各教科、道徳科及び総合的な学習の時間などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努める。また、それらの指導を通して、家庭や地域社会との連携を図りながら、日常生活において適切な体育・健康に関する活動の実践を促し、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎的能力が培われるよう配慮する。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- 【学校運営】・ミドルリーダーを核とした組織の活性化とともに、校内業務の精選化・効率化を図る。
○地域と連携した諸活動の推進
- 【学習指導】○「とよさとの学び」に基づいた教員の授業力向上の推進並びに家庭・地域と連携した学力向上
- 【児童生徒指導】○認め励ます教育の一層の推進による豊かな心や社会性をもった生徒の育成
- 【健康（体力・保健・食・安全）】○生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

- ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所を下線を付ける。
※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す生徒の姿	A1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 (生徒・教職員)「生徒は、授業中、話しをしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる」 肯定的回答85%以上	① 学習課題の提示（「はっきり」）やふり返り（「すっきり」）の設定を工夫し、生徒が主体的に学ぶ授業の実践に努める。 ② 生徒一人一人が自分の考えを持つ（「じっくり」）ことによって、発見のある授業づくりに努める。 ③ 生徒の対話を通して、思考力、判断力、表現力を伸ばす指導の充実を図る。	B	【達成状況】 生徒・教職員の肯定的回答率は、それぞれ92.1%・100%であり、数値目標に達した。 【次年度の方針】 「はっきり」「じっくり」「すっきり」の授業づくりに努め、わかる授業を推進する。導入されるタブレットを効果的に活用できるように工夫し、生徒の学習意欲の高まりを図る。
	A2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 (生徒・教職員)「生徒は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している」 肯定的回答85%以上	① 「特別の教科 道徳」の充実のために、道徳科の授業づくりとして、「考え、議論する道徳」を目指し、授業改善を図る。 ② 豊かな感性を育む機会の充実のため、朝の学習時の読書活動「朝読」を取り入れるとともに、学校図書館司書と連携した読書活動に努める。	B	【達成状況】 生徒・教職員の肯定的回答率は、それぞれ90.3%・93.2%であり、数値目標に達した。 【次年度の方針】 「道徳」の授業を大切に、学年で共有しながら、考え議論する授業作りに努める。また、授業や学校行事を通してよりよい集団づくりを推進する。

<p>A3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 (生徒・教職員)「生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている」 肯定的回答85%以上</p>	<p>○① 時間を守る、身の回りの整理整頓や状況に応じた礼儀・態度など基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、登下校時の交通マナーの徹底に取り組む。</p> <p>② タイム着席や語先後礼式あいさつ、黙動等の本校独自の取組を、教職員が率先垂範の姿勢で行動し、生徒が自立的に取り組めるよう、指導の充実を図る。</p>	<p>【達成状況】 生徒・教職員の肯定的回答率は、それぞれ89.6%・93.2%であり、数値目標に達した。</p> <p>【次年度の方針】 年度始めに、教職員の共通理解を図り、同一歩調での指導を徹底する。週1回の生徒指導部会で、生徒理解と現状把握を共有し、成果と課題を分析する。生徒ができていることを認め励ますことを大切にしていく。</p>
<p>A4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 (生徒・教職員)「生徒は、時と場に応じたあいさつをしている」 肯定的回答85%以上</p>	<p>○① 校外でのあいさつをさらに充実したものにするとともに、地域協議会や小学校と連携して、地域学校園全体であいさつ運動をさらに展開していく。</p> <p>② 校内のあいさつ運動や、小中合同のあいさつ運動に、教師が率先垂範で取り組んでいく。</p>	<p>【達成状況】 生徒・教職員の肯定的回答率は、それぞれ95.9%・88.6%であり、数値目標に達した。</p> <p>【次年度の方針】 学校での諸活動をとおして、教職員が率先してあいさつをすることで生徒の意識の高揚を図り、学校全体で節度のあるあいさつがあふれる環境づくりに努める。地域や家庭への協力にも力を入れる。</p>
<p>A5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 (生徒・教職員)「生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」 肯定的回答85%以上</p>	<p>① 「挑戦する」活動、「がまんして」やり続ける活動、「あきらめず」努力する活動を意図的に設定し「感動のある学校」を目指す。</p> <p>② 生徒のよさや努力を認め、意欲を高める指導の充実を図る。</p>	<p>【達成状況】 生徒・教職員の肯定的回答率は、それぞれ86.6%・86.4%であり、数値目標に達した。</p> <p>【次年度の方針】 スモールステップでの達成感を得る機会を数多くつくり、認め励まししながら生徒に自信をもたせる。様々な活動の中に、「挑戦」「我慢」「諦めない」等のテーマを設定して生徒に取り組ませることで、生徒の意欲を喚起する。</p>
<p>A6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 (生徒・教職員)「生徒は、健康や安全に気を付けて生活している」 肯定的回答85%以上</p>	<p>○① 健康診断・新体力テスト等の結果を参考にして、体位・体力の調和と均整がとれるよう各運動領域での補強運動の工夫をする。</p> <p>② 給食の時間における食に関する指導の充実のため、食事の重要性、心身の健康、食品を選択する能力、感謝の心、社会性、食文化について、教科等において関連を図りながら指導する。</p>	<p>【達成状況】 生徒・教職員の肯定的回答率は、それぞれ94.0%・88.6%であり、数値目標に達した。</p> <p>【次年度の方針】 各種診断結果やテスト結果をもとに、本校生徒の現状を把握し、保健体育の授業や運動部活動で、体力向上を図る活動を取り入れる。「保健だより」や「給食だより」等で、生徒の理解を深めるとともに保護者の協力を図る。</p>
<p>A7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】 (教職員)「生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」 肯定的回答85%以上</p>	<p>① 「宮・未来キャリア教育」の充実を図り、生徒一人一人が将来の夢や目標を持つことができるよう、学級活動等の指導を行う。</p> <p>② 地域の清掃活動、農業体験活動を通して、地域の方々と世代を超えて協働することにより、社会に参画する力を育む。</p>	<p>【達成状況】 生徒・教職員の肯定的回答率は、それぞれ86.6%・86.4%であり、数値目標に達した。</p> <p>【次年度の方針】 9年間を見通した計画的なキャリア教育ができるように、キャリアパスポートを有効活用し、学級活動の充実を図る。地域との交流活動をとおして、活動の意義を考えさせるとともに、充実感を感じさせ、意欲を喚起する。</p>

<p>A8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 (生徒・教職員)「生徒は、英語の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている」</p> <p>肯定的回答85%以上</p>	<p>① 英語科教員の共通理解のもと、英語の授業では、1年時からすべて英語での指示等を行い、積極的に英語を使う態度を養う。</p> <p>② 給食時にALTと食事をする機会を設け、日常的に英語に親しむ機会を作る。</p>	A	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答率は、90.7%であり、数値目標に達した。生徒の肯定的回答率は、81.5%であり、数値目標に達しなかった。新型コロナの影響でコミュニケーション活動に制限があった。</p> <p>【次年度の方針】 英語の授業でのウォーミングアップやペア学習など、英語で話す機会を多く設定し、楽しさを味わわせる。英語科を中心に、ALTの活用を計画的に行う。</p>
<p>A9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 (生徒・教職員)「生徒は、宇都宮の良さを知っている」</p> <p>肯定的回答85%以上</p>	<p>① 宇都宮の歴史、文化、産業について理解を深めるため、郷土を資料や題材とした授業の展開を進める。</p> <p>○② 古墳愛護会や市文化課とともに活動することを通して、生徒の意識を地域や社会に向けさせた広い視野を育てる。</p>	A	<p>【達成状況】 生徒・教職員の肯定的回答率は、それぞれ81.1%・59.1%であり、数値目標に達しなかった。生徒と教職員で大きな差が見られた。地域ボランティアが実施できなかったことも影響したと思われる。</p> <p>【次年度の方針】 来年度から導入される「宇都宮学」を中心に、各教科・領域でも地元的话题を取り上げ行く。また、地域との交流を充実させたり、掲示物の工夫を行ったりして、生徒の地元に対する関心を高める。</p>
<p>A10 生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 (生徒)「生徒は、パソコンや図書等を学習に活用している」</p> <p>肯定的回答85%以上</p>	<p>① 情報社会に対応した情報活用能力を育成するため、「情報モラル教育」の充実を図り、「宇都宮市情報モラル教育年間指導計画」に基づき、発達段階に合わせた体系的・継続的指導を行う。</p> <p>② さまざまな教科で、タブレット型パソコンを活用した授業を実践する。</p>	A	<p>【達成状況】 生徒・教職員の肯定的回答率は、それぞれ74.7%・81.8%であり、数値目標に達しなかった。</p> <p>【次年度の方針】 次年度から導入される1人1台のタブレットを効果的に活用させるために、まずは教職員の研修を充実させる。</p>
<p>A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 (地域住民)「生徒は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している」</p> <p>肯定的回答85%以上</p>	<p>① 体育祭において高齢者専用席を設け、高齢者とふれあう機会を設ける。</p> <p>② 生徒会専門委員会や吹奏楽部の高齢者施設訪問活動を継続的に実施する。</p>	B	<p>【達成状況】 地域住民の肯定的回答率は、100%であり、数値目標に達した。</p> <p>【次年度の方針】 道徳の授業を中心に心や態度を育成するとともに、高齢者福祉施設との交流など、体験を通して考えを深化させる。また、掲示物を工夫するなど、交流活動の様子を広く知らせていく。</p>
<p>A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 (生徒・教職員)「生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている」</p> <p>肯定的回答85%以上</p>	<p>① 生徒会活動を通して、リサイクル活動を継続的に実践することで、「持続可能な社会」への意識を高める。</p> <p>② 様々な教科の題材として、意図的に環境問題、エネルギー問題等を取り上げ、自分たちの問題として考える素地を養う。</p>	A	<p>【達成状況】 生徒・教職員の肯定的回答率は、それぞれ73.2%・61.4%であり、数値目標に達しなかったが、昨年度に比べて上昇した。</p> <p>【次年度の方針】 普段自分たちで取り組んでいる活動の中にも、「持続可能な社会」につながるものがたくさんあることを理解させ、関心意欲につなげていく。教職員の意識の高揚を図るため、研修等を充実させる。</p>

目 指 す 学 校 の 姿	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 (教職員)「教職員は、特別な支援を必要とする生徒や外国人生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている」 肯定的回答85%以上</p>	<p>① 生徒一人一人の実情を把握し、特別な支援を必要とする生徒に対して、その実態に応じた支援ができるよう、特別支援教育コーディネーターを核とした連携を密にする。</p> <p>② 特別な支援を必要とする生徒についてのケース会議等を持ち、具体的な支援の形を職員、保護者で共有する。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答率は、95.5%であり、数値目標に達した。</p> <p>【次年度の方針】 週1回の教育相談部会などとおして、生徒の情報共有を行い、特別支援コーディネーターを中心にして、スクールカウンセラーやメンタルサポーターを活用するなど、組織的な支援体制を整える。</p>	B
	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 (生徒・保護者)「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 肯定的回答85%以上</p>	<p>① 生徒一人一人に丁寧に向き合うとともに、いじめの定期的なアンケートを実施し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応、組織的な対応に努める。</p> <p>② 授業、部活動はもちろん、日常生活の中で、どんな些細なことでも、生徒・保護者に対応し、いじめの早期発見、早期解決を図る。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答率は、95.4%であり、数値目標に達した。保護者の肯定的回答率は、76.0%であり、数値目標に達しなかった。生徒と保護者では、肯定的回答率に差があった。</p> <p>【次年度の方針】 定期的な生活アンケートやスタンダードダイアリーなどから生徒の動向を把握し、早期の対応を組織的に行う。また、学校での取組などの情報を発信し、保護者の理解と協力を得られるように努める。</p>	A
	<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 (生徒・教職員)「先生方は、一人一人を大切に、生徒がともに認め合うクラスをつくっている」 肯定的回答85%以上</p>	<p>① 新たな不登校を生まないため、「挨拶」「励まし」「賞賛」など、身近な言葉かけを大切に学級経営を行う。</p> <p>② どの生徒も活躍できる場を意図的に設定するなど、自己存在感のある学校を目指す。</p>	<p>【達成状況】 生徒・教職員の肯定的回答率は、それぞれ92.4%・100%であり、数値目標に達した。</p> <p>【次年度の方針】 スタンダードダイアリーなどから生徒の動向を把握し、情報共有をしながら早期の対応を組織的に行う。様々な活動とおして、生徒の活躍できる場を意図的に設定し、自己有用感が育まれるような働きかけを行う。</p>	B
	<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 (教職員)「教職員は、特別な支援を必要とする生徒や外国人生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている」 肯定的回答85%以上</p>	<p>① 生徒が外国籍の場合だけでなく、保護者が外国籍などの場合も含めた支援を行えるように、実態の把握に努める。</p> <p>② その生徒、家庭が必要としている支援を適切に行い、将来的には自立していける方向性を持たせる。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答率は、95.5%であり、数値目標に達した。</p> <p>【次年度の方針】 実態の把握をし、生徒・保護者が必要とする支援が適切に行うことができるように、組織的に取り組む。必要であれば、外部機関と連携を取り、支援を充実させる。</p>	B
	<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 (生徒・教職員)「私は今の学校が好きです」 肯定的回答85%以上</p>	<p>① 心の通じ合いや粘り強い努力を大切にして、感動のある学校づくりを推進する。</p> <p>② 学校行事では、生徒の自発的・主体的活動を積極的に取り入れ指導に当たる。</p>	<p>【達成状況】 生徒・教職員の肯定的回答率は、それぞれ85.9%・97.7%であり、数値目標に達した。</p> <p>【次年度の方針】 生徒会を中心とした生徒の自発的・主体的な活動を工夫して取り入れるとともに、一人一人が活躍する機会を意図的に設定し、自己有用感を高める。</p>	B

<p>A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 (生徒・教職員)「先生方は、授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 肯定的回答85%以上</p>	<p>○① 授業において、互いに認め合い励まし合う学習の場を作るよう努力し、毎時間の目標と評価を関連づけた指導を徹底する。</p> <p>② 「分かる楽しい授業」のために体験的活動を取り入れた授業展開を工夫し、生徒一人一人の学習意欲の向上を図り、難易度の高い課題への取り組みを行う。</p>	<p>【達成状況】 生徒・教職員の肯定的回答率は、それぞれ86.7%・100%であり、数値目標に達した。</p> <p>【次年度の方針】 普段の授業や各種学習状況調査などで、生徒の学習状況を把握し、実態に応じた指導を各教科で工夫する。次年度は、新指導要領やタブレットの導入などがあり、職員の研修を充実させ、授業に生かす。</p>
<p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 (教職員)「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる」 肯定的回答85%以上</p>	<p>① 学校の組織力を強化し、生徒への指導・支援の充実を図るため、多様な専門スタッフとの連携を密にする。</p> <p>② チームとしての学校の力を最大限に生かせるようにするため、スタッフの専門性を発揮できる場を設定するなど、管理職のマネジメントのもと、体制を整える。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答率は、88.6%であり、数値目標に達したが、昨年を大きく下回った。</p> <p>【次年度の方針】 年度当初に、学校経営方針の共有化を図り、職員一人一人の参画意識を高める。管理職や各主任が中心となり、教職員の能力・特性が発揮できるような校内体制を構築する。</p>
<p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 (教職員)「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」 肯定的回答85%以上</p>	<p>① 時間外勤務の削減に向けて、業務の精選・見直しなど、校務分掌の刷新を図る。</p> <p>② 「宇都宮市部活動方針」に基づき、部活動の適正な運営に努める。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答率は、81.8%であり、数値目標に達しなかったが、昨年度から上昇した。</p> <p>【次年度の方針】 校務分掌や行事内容の見直しをするとともに、主務者に頼るのではなく、連携をとることで、業務の均等化を図る。</p>
<p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 (教職員)「学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている」 肯定的回答85%以上</p>	<p>○① 計画的に運営委員会、各部会を実施し、小学校との連絡・調整を図り、様々な合同行事を開催する。</p> <p>○② 相互の乗入授業を行い、相互理解に努めるとともに、情報交換の場として活用する。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答率は、79.1%であり、数値目標に達しなかった。新型コロナの影響で実施できないことが多かった。</p> <p>【次年度の方針】 持続可能な範囲で、小中の連携を図り、9か年を通して計画的に生徒を育成していく。</p>
<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】 (生徒)「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい」 肯定的回答85%以上</p>	<p>① さまざまな体験学習に地域の方々の協力を得ることで、地域の教育力を生かす取組の充実を図る。</p> <p>② 「食農体験」やキャリア教育における「職業人に聞く」「宮っ子チャレンジ」など、地域、企業の方々との協力を得ることで、特色ある教育活動を展開する。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答率は、79.0%であり、数値目標に達しなかった。新型コロナの影響で実施できないことが多かった。</p> <p>【次年度の方針】 地域協議会や地域コーディネーターと連携し、可能な範囲で地域と交流できる場を設定する。地域の教育力に対して情報収集を充実する。</p>

	<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 (教職員・保護者・地域住民)「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」</p> <p>肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 家庭への積極的な情報発信と相互理解を推進するため、学校の取組や生徒の様子の情報発信に、各種通知や学校 HP の利用、保護者会や三者懇談の機会を活用する。</p> <p>② 魅力ある学校づくり地域協議会との連携を強化し、保護者や地域住民の意見を的確に学校運営反映させる。</p>	B	<p>【達成状況】 教職員・地域住民の肯定的回答率は、それぞれ 90.9%・100%であり、数値目標に達した。保護者の肯定的回答率は 83.5%で数値目標にわずかに達しなかった。新型コロナの影響で、保護者が学校へ来る機会がほとんどとれなかった。</p> <p>【次年度の方針】 各種たよりやホームページを充実させて情報発信をし、保護者や地域の理解や協力が得られるように努める。</p>
	<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 (教職員・保護者)「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている」</p> <p>肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 月1回の安全点検において、修繕要望等が出されたものは、速やかに修理し、安全が保たれるようにする。</p> <p>② 生徒が多く活動を行う箇所については、日常的な点検を行う。</p>	B	<p>【達成状況】 教職員・保護者の肯定的回答率は、それぞれ 97.7%・89.9%であり、数値目標に達した。</p> <p>【次年度の方針】 日常的な施設の点検に責任をもって取り組む。また、危険が予知できるものには、積極的な安全対策を施す。学校業務員・機動班と連携し、早期の改善を図る。</p>
	<p>A25 学校は、学習に必要な ICT 機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】 (教職員)「生徒は、ICT 機器や図書等を学習に活用している」</p> <p>肯定的回答 85%以上</p>	<p>① タブレット型パソコンをはじめとする ICT 機器の活用により、主体的・対話的で深い学びを促進し、生徒の情報活用能力の育成を図る。</p> <p>② 学校図書館の学習センター・情報センターとしての機能を持たせるため、図書館司書と連携し、必要な図書を充実させる。</p>	A	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答率は、81.8%であり、数値目標に達しなかった。</p> <p>【次年度の方針】 新しく導入されるタブレットが効果的に活用されるように、教職員の研修を充実させる。生徒の実情を把握し、定期的に必要な機器や図書の選定を行う。</p>
本校の特色・課題等	<p>B1 ミドルリーダーを核とした校内組織の活性化・重点化により教職員の働き方改革を推進する。</p> <p>【数値指標】 (教職員)「学校は各主任・主事を核として、校内組織の活性化が図られている」</p> <p>肯定的回答 85%以上</p>	<p>① ミドルリーダーを校内組織の中核に据え、若手教員との意思疎通を円滑にし、校内組織の活性化を図る。</p> <p>② 校内組織の中で、OJT を通して、若手職員の育成を図る。</p>	B	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答率は、93.0%であり、数値目標に達した。</p> <p>【次年度の方針】 校内組織の活性化のためには、ミドルリーダーの役割が大切であることを確認し、ミドルリーダーを核とした校内体制を構築する。また、何でも言い合える雰囲気職場環境をつくる。</p>
	<p>B2 教員は、授業実践を通して授業力向上を目指し、積極的に授業公開をしている。</p> <p>【数値指標】 (教職員)「教員は、授業実践を通して授業力向上を目指し、積極的に授業公開をしている」</p> <p>肯定的回答 85%以上</p>	<p>① それぞれの教員が、授業力の向上を目指し、公開授業を積極的に行う。</p> <p>② 参観者からの授業に関するコメントを参考に、さらなる授業改善に臨む。</p>	B	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答率は、88.4%であり、数値目標に達した。</p> <p>【次年度の方針】 教科部会や授業公開を通して、教職員間で授業力向上を目指し、生徒にとって分かりやすい授業が展開できるように努める。</p>

<p>B3 教員は、授業の工夫・改善を図るため、同僚の授業を積極的に参観している。</p> <p>【数値指標】 (教職員)「教員は、授業の工夫・改善を図るため、同僚の授業を積極的に参観している」 肯定的回答85%以上</p>	<p>① 同僚の授業を参観し、授業改善の方策を探る。</p> <p>② 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の工夫・改善を図る。</p>	<p>A</p> <p>【達成状況】 教職員の肯定的回答率は、76.7%であり、数値目標に達しなかった。</p> <p>【次年度の方針】 他教科も含めて授業参観から得られることが、授業力向上につながるという意識を、教職員で共有する。授業公開の方法を工夫することで、参観しやすい環境をつくる。</p>
--	---	---

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で、保護者や地域の方が学校へ来る機会がなくなり、学校や生徒の様子がわからず、評価することができないという意見が見られた。情報発信の工夫や充実が必要である。また、学校行事や地域ボランティアの変更や中止があり、生徒の活動が制限されたことも評価に影響したと思われる。 ・教職員の評価は、概ね良好で、市内中学校の平均値と比べても、上回っている項目が複数ある。特に学習指導や生徒指導の項目では、評価が高い。普段から生徒の状況を把握しながら、きめ細かな指導を心がけていることが見て取れる。 ・保護者の評価は、市内中学校の平均値と全項目同程度である。いくつかの項目で、生徒の評価に比べて保護者の評価が低いものが見られる。学校での取組が理解されていないことが考えられ、保護者への情報の発信を工夫して充実させる必要がある。 ・生徒の評価は、市内中学校の平均値と全項目で同程度である。地域に関する項目は、昨年度に比べて評価が下がってしまったが、活動の自粛など新型コロナウイルスの影響が大きいと考えられる。
--

7 学校関係者評価

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、安全への配慮がより一層求められる中、引き続き可能な範囲で地域と連携を図って、地域の活性化につなげていただくことを期待している。 ・今年度は予測のつかない事態の中、何かと苦勞が絶えなかったと拝察する。そういった時期においても、生徒・保護者・学校が一体となって、話し合っ知恵を出し合っ乗り切れれば、後年において生きていく上での糧になるはずである。 ・新型コロナウイルス対策で、多方面で学校も大変だったのではないだろうか。地域で協力できることがあれば、相談してもらえれば、可能な範囲で協力したいが、学校からの要望がないと動けないのも実情である。 ・コロナ禍で外部の者が校内の教育活動を直接拝見できずとも残念だが、通勤途中で生徒の登下校の様子を見ると、安全に十分注意しながら通学している姿や小学生をそれとなく見守りながら通学している姿などがあり、安心している。 ・なかなか学校を訪れることができないが、ホームページを見るようにしている。学校の様子がわかり、コロナ禍の中でも生徒の活気が伝わってくる。ホームページの充実をこれからも期待したい ・ウイズコロナの時代にあっても中学生の明るく元気な姿に感心している。 ・下校時にマスク等が落ちていることが見受けられる。生徒一人一人に地域を守り愛する心をもってほしい。
--

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍を始め予測の付かない事態へ対応するためにも、学校・保護者・地域の連携は欠かせない。まずは、学校の様子や生徒の活動を広く周知することが必要であり、ホームページや各種たより等での情報発信を充実していく。 ・今年度、例年引き継がれてきた地域との交流がほとんど途切れてしまった。「地域と共にある学校づくり」という意識を、教職員や生徒に再確認させるとともに、安全で新しい生活の中で地域との関わりを充実するために、可能な範囲で取組の見直しや工夫をしていく。 <p>○学力向上や生活習慣の定着は、中学校3年間だけでは育まれない。地域学校園の小中学校で、児童生徒の良さや課題を共有し、可能な範囲で連携を充実させていく。</p>
